

## 検討課題7 女性研究者数の把握の充実

### 1 課題内容

平成24年1月の統計委員会答申において、科学技術施策等の変化に遅滞なく対応していくために不断の見直しを行う必要があるとの指摘を受けた。また、施策の具体的例として、女性研究者の参画拡大に向けた環境づくりが挙げられていることから、女性研究者数の把握の充実について検討する。

### 2 科学技術研究調査における取扱い

- ・研究関係従業者数及び研究者の専門別内訳は男女別に把握。
- ・採用・転入研究者数及び転出研究者数はいずれも男女計のみ把握。
- ・調査前年の4月1日から調査年の3月31日までの異動が対象。

### 3 フラスカティ・マニュアルにおける取扱い

フラスカティ・マニュアルでは、研究開発の労働力（研究者数）について、男女別に把握する事を勧めているが、研究者の異動状況については、特に記載はなく、OECDからのデータ提供依頼もない。

### 4 課題に関する検討状況

#### ① 政策ニーズ

文部科学省から、女性研究者の支援施策の企画立案及び評価のために、採用研究者、転入研究者数（計）及び転出研究者について、その異動状況の把握（女性区分の追加）が必要との具体的要望があった。

#### ② 記入者負担の軽減及び記入精度の確保

研究者数（ストック）については、調査日（3月31日）時点での記入を求めているが、採用・転入及び転出研究者数については、1年間の異動総数（フロー）での記入を求めていることから、記入負担が重い旨の意見が多いため、「うち女性」区分を追加する場合は、記入者負担に配慮し、必要最小限に止める必要がある。

### 5 検討のとりまとめ

採用研究者数、転入研究者数（計）及び転出研究者数について、「うち女性」の区分を追加することとしたい。

なお、異動状況の把握については、そもそも記入負担が重い旨の意見があることから、調査対象の実情を把握した上で、判断することとしたい。

(調査票イメージ)

(現行)

【5】採用・転入研究者数	
採用・転入者数合計	
新規採用者	
転入者	会社
	うち親子会社※甲調査のみ
	非営利団体
	公的機関
	大学等
	その他

#### 【6】転出研究者数

転出研究者数	
うち親子会社※甲調査のみ	

(変更案)

#### 【5】採用・転入研究者数

	総数	うち女性
新規採用研究者数		
転入研究者数		
会社		-----
うち親子会社※甲調査のみ		-----
非営利団体		-----
公的機関		-----
大学等		-----
その他		-----

小計欄を追加

#### 【6】転出研究者数

	総数	うち女性
転出研究者数		
うち親子会社※甲調査のみ		-----